

みやぎ地域づくり交流会

2013年9月1日

発行
みやぎ地域づくり交流会



きずな通信 No. 10

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

地域の話題あれこれ

きずな通信10号では、各町で行われている独特な行事などを特集しお届けしたいと思っております。なお、今回掲載できなかった町の情報は次回の特集でお届けしたいと思います

市之関町



町内の子供達がしめ縄用の稲の田植えを行う

市之関町では、例年行われている正月用しめ縄作りを使用する稲の田植えを、6月16日町内の子供達が行いました。当日は、花いっぱい運動で町内各所に花を植栽し、終了後に自治会役員さんが準備した田んぼで行われました。



子供達が田植えを経験する機会は学校などでありませんが、ほとんどがお米を収穫するのが目的で、稲ワラを収穫するのが目的の田植えは他になく、収穫後、12月に行われるしめ縄作りを使用して、より御利益のあるしめ縄が出来ることと思えます。

今後、しめ縄作りも取材に行きたいと思えます。

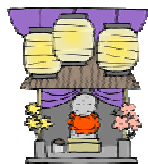
柏倉町



夏休みの子供達が歴史ある燈籠祭りを行う

柏倉町二区地区では、8月22日・23日に、地域のお地蔵様のお祭りを行いました。

このお祭りは、60年ほど前から子供達の手により行われており、個々に手作りした燈籠を夕方持ち寄り、お地蔵様付近の道路わきに飾ります。また、育成会役員や高学年の子供達による模擬店などが当たり、花火を行ったりととても楽しいお祭りでした。



【お地蔵様の前で楽しむ子供達】

苗ヶ島町

地域の護り神おびんづる様が住民の手により再建される

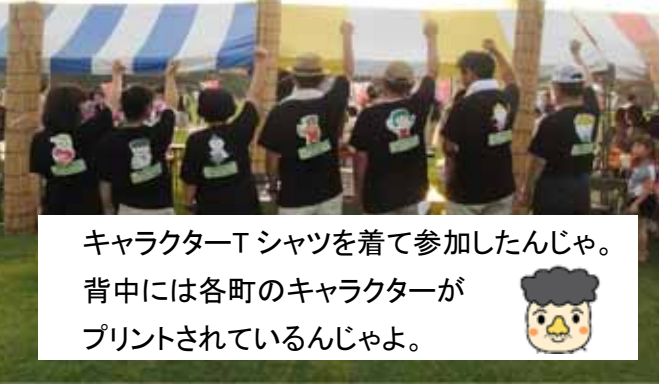


苗ヶ島町では、400年位前より地元を護り続け、そして時の流れに朽ちてしまった「おびんづる様」を、地区住民や近隣町民関係者の寄附金により再建し開眼法要を行いました。再建場所は金剛寺参道南入口で、昔おびんづる様のお堂があったとされる場所を見つめるように遷座されました。おびんづる様は、なで仏と言われ、自分の体の悪いところと同じ場所をなでるとそこが良くなると言われています。



【多くの住民の見つめる中に行われた開眼法要】

みやぎ七字ファミリー参上!?



キャラクターTシャツを着て参加したんじゃ。背中には各町のキャラクターがプリントされているんじゃよ。

みやぎ地区 納涼祭に参加

8月4日に行われた納涼祭にエコキャップ回収活動とエコキャップの数を予想する『数当てドン』のブースを出しました。今年は天候に恵まれ、沢山の来場客で賑わい、ボランティアの会、商工会女性部の協力により多くのエコキャップの回収とクイズの応募がありました。今回は、な・な・んと初めて『ヒタリ賞』が出たのでスタッフも驚きました。

2013.6.23

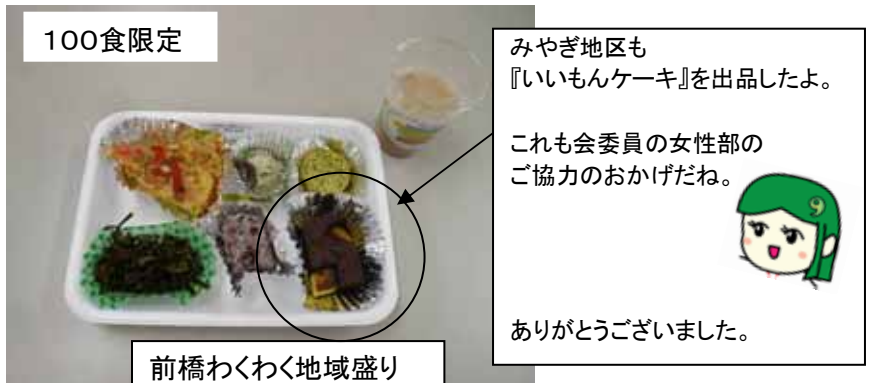
みやぎ地区 自慢の食 地域づくり情報を交換

前橋市の地域づくり情報を交換する『まえばし地域づくり交流フェスタ2013』が市総合福祉会館で開かれました。市内各地の地域づくり協議会や市民活動団体がステージ発表やパネル展示を通じて日頃の活動を紹介し、みやぎ地区からは、①『プロジェクト・清流荒砥川に集う』をテーマとした自然文化交流部長の井上憲明さんが、日頃の取り組み内容のステージ発表を行いました。その中で地域の現状や課題についての質問など活発な

意見交換がおこなわれました。②食をテーマとしたコーナーでは古代米やいいもんケーキなど6地区の食材を使った料理を1皿に集めた『前橋わくわく地域盛り』を限定100食で用意しました。販売開始から長蛇の列ができ、あっという間に完売しました。購入した人たちは、『みやぎのいいもんケーキが美味しい』などと感想を話し合いながら各地域自慢の味を楽しみました。



©みやぎ地域づくり交流会



みやぎ地区も『いいもんケーキ』を出品したよ。

これも会委員の女性部のご協力のおかげだね。



ありがとうございました。

【宮城地区 石の伝説⑤】

苗ヶ島町の蚕種石

苗ヶ島町金剛寺の参道脇に凝灰岩の自然石があり、青面金剛像の台石になっている。

この石は苗ヶ島七つ石の一つ「蚕種石」である。蚕が成長と共に表皮の色が変化していくように、石の表面の色が変化するのでその名がある。色の変化は苔などによるものではなく、石そのものの表面の色が変わるといわれている。

蚕種石は以前、東宮ムツ子さん宅裏山の樁の根元にあったが、平成初期、なんの理由か現在地に移したものである。いわれのあるものは特別な事情がないかぎり、あるべき場所にあるのが最良であり、まして、取り返しのつかない人工的な手など加えるべきではない。

粕川町の桂川右岸にも同名の石があり、一辺が1・5メートルほどの四角な黒い石で真岩と考える。この石のいわれも苗ヶ島の蚕種石とまったく同じである。

(自然文化交流部会員